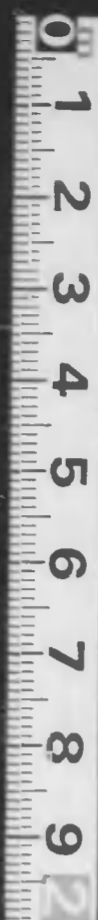


週寫 報眞

編輯部報情閣内
ンセ十・號九卅第・日九月一十

第百九十九號
昭和十一年九月十一日
東京
發行所
編輯部
電話
九百九十九號



武漢陷落の目



以下は、長くも十月二十八日午後五時、臨時を脱し、御座成を御座成つて、御座成を御座成した民軍の決意を御座成、御座成から二階上に出御の御座成、御座成を御座成した。

長期建設



員 動 總 神 精 民 國



赤誠

地方から出て来た人々をも交へて、明治神宮への参拜は、玉砂利をふみしめ、後を断たない。

あふれる

二重橋の鉄方を拜して天皇陛下萬歳を奉唱したあの感涙がまだ目がしらをあつくぬらしてゐる。



日の落陥漢武



数十萬の提灯行列からはなれてこいた提灯二つ。一、樹氣の磁工さん一家だ。戦線の前を想ひ、一、まじい感涙の祈りがついでられる。これだからこそ、日本は強いのだ。森野の明治神宮境内で赤誠の灯は一段と強調されてゐるではないか。



廿八日、戦勝をことごとく東條に明賜が映えて、靖國神社々頭、森野の氣はいやまし、祝賀ののぼりは翻翻とひるがへる。

靖國神社にくりひろげられた英靈への感謝——神社参道は早朝からすつかり参拜の人波にうづめつけられて午後には積りついでた。



波の旗

日の落陥漢武



↑ 宮城へ、宮城へ、清朗の戦勝日
和を、男女学生が、青少年団が、
数萬、數十萬、ひきも切らず集ま
り集まる。

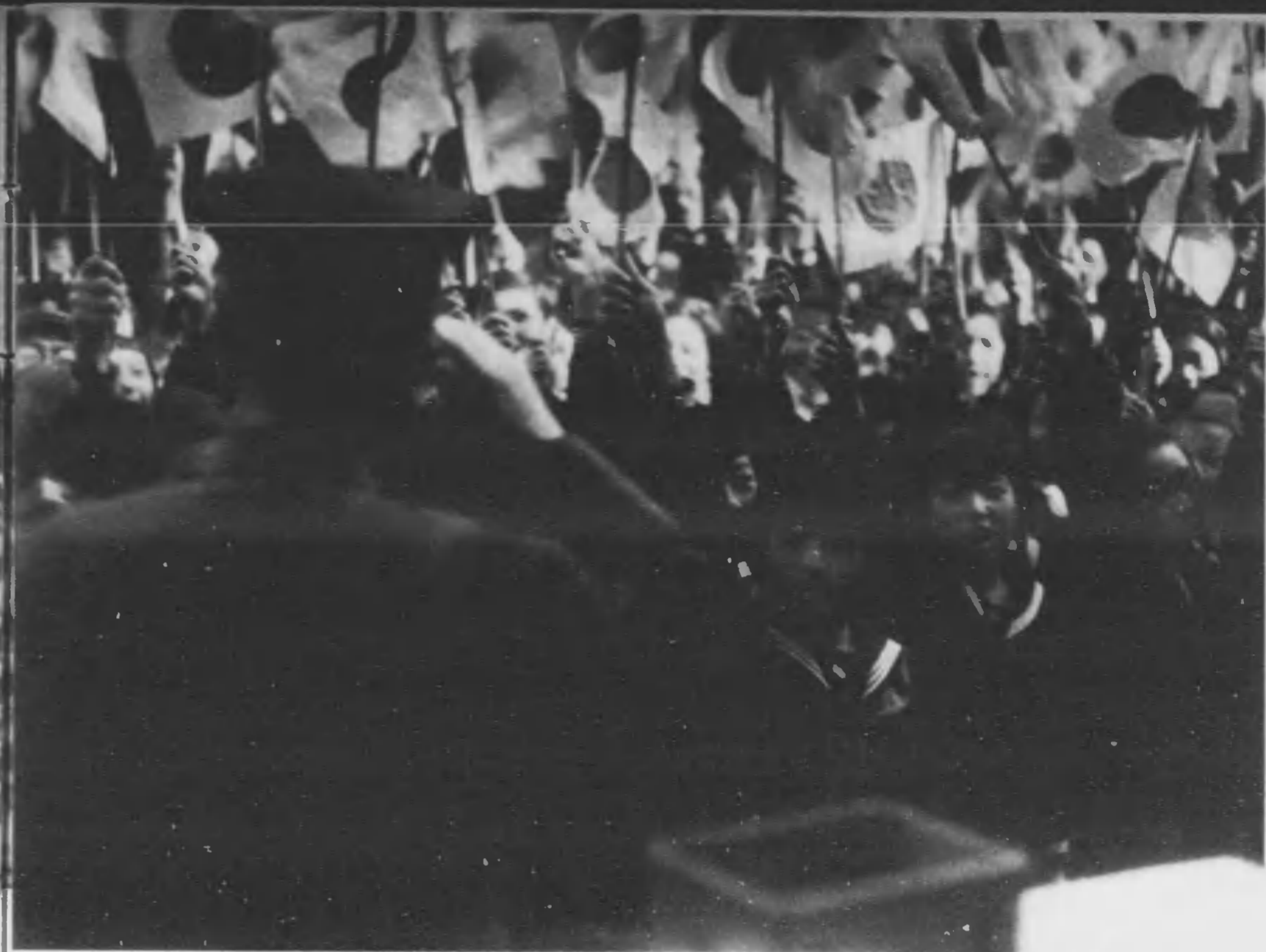
⇒ 漢口おつ！この一瞬、全國民
が待ちに待つた時は遂に來た。號
外の鈴が飛ぶ、商店もオフィスも
住宅街も一齊に日の丸だ、大阪中
ノ島公園も女学生の日の丸行進で
一ぱいだ。(大阪)





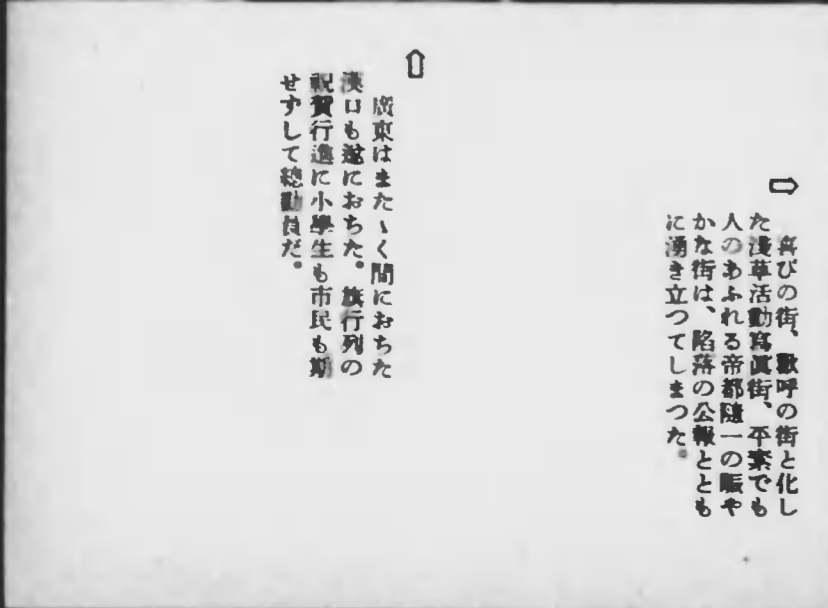
撮影
内閣情報部
梅本忠男
加藤善平
官田

警視廳へきた旅行列の届出
のなかにはまたかすの愛
りだねもあつたが、これはひ
としは想ひ深からう白米ロシ
ア人の祝賀行進。



祝賀行進の學習院生徒の中
には、長くも照宮さまも御参
加なされた。

北京も漢口陥落の報にわかへり、十月卅日には
臨時政府の祝賀宴が日支関係者ごとく出席のう
ちに舉行され、軍樂隊と旅行列に歡喜の餘蘊はこ
にもいたるところにくりひろげられた。(北京)



廣東はまたく間にあつた
漢口も遂におちた。旅行列の
祝賀行進に小學生も市民も期
せずして總動員だ。



喜びの街、歡呼の街と化し
た淺草活動寫眞街、平家でも
人のおよぶる帝都唯一の賑や
かな街は、陥落の公報とも
に湧き立つてしまつた。





この夜帝都は百萬の提灯に埋めつくされた。しかもこの百萬の提灯は宮城に向つて行進をつづけただ。灯の波、火の海、萬歳の都。

浅草の観音様に繰り出した小学生の提灯行列、宮城に参拜したいか銀座、丸の内方面は人の波で通れないといふので、可愛い愛國行進曲と、提灯の流れは観音様へ。

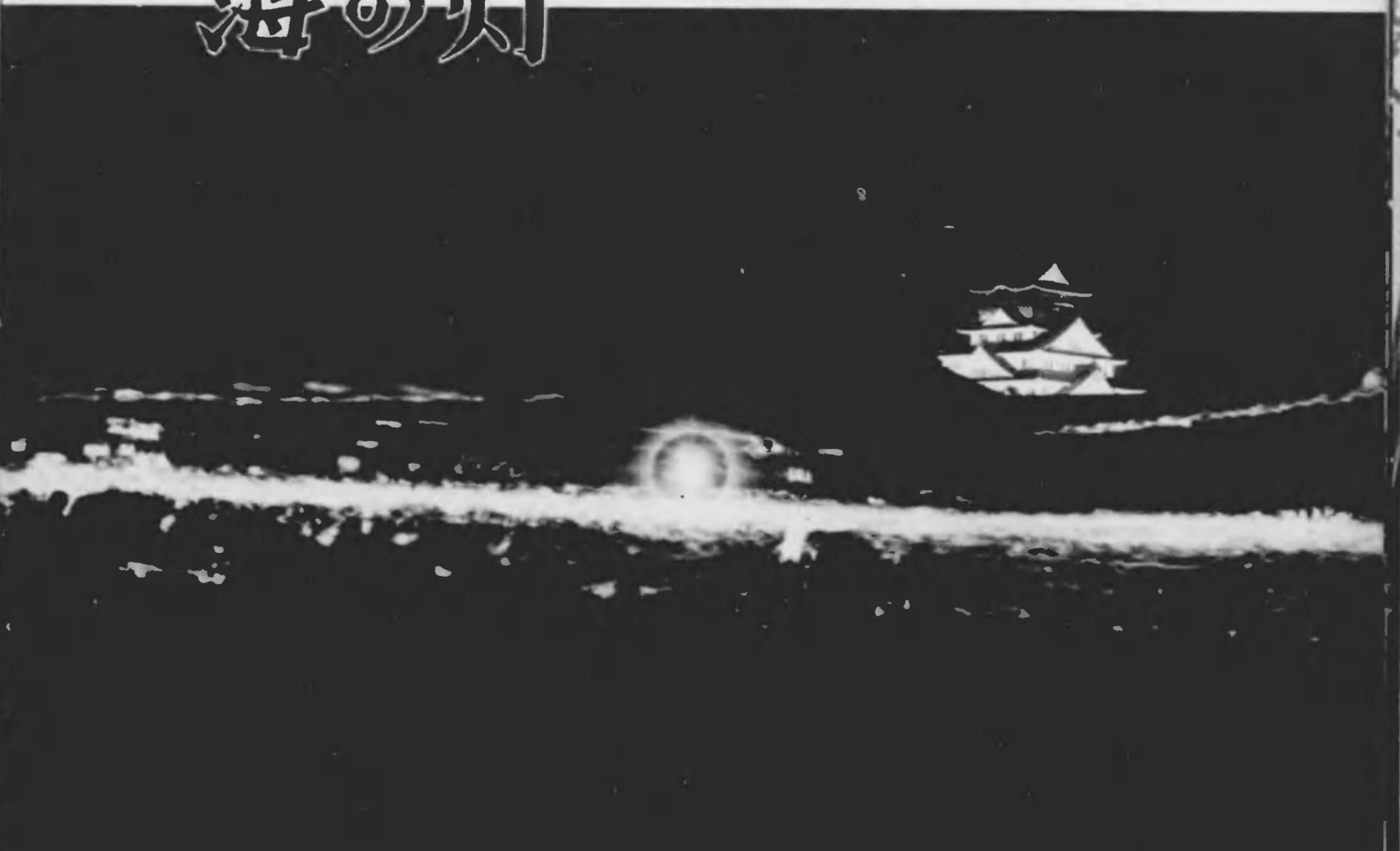
日の落陥漢武

海の灯



大阪城の天主閣も祝賀のイリュミネーションにくつきりと浮びあがつた。大阪市民の熱狂は、限りなき灯の海の怒濤となつて、その夜遂に最高潮に達した。(大阪)

バンザイ、漢口までもとつけと聲を限りに絶叫する商業青年隊、この喜び、この感激、漢口は陥ちたぞ。



漢口陥落

聖戰は進む



漢口陥落後、雨を叩きながら、わが軍の一部は漢口を占領した。わが軍は、漢口に降参した。漢口に降参した。漢口に降参した。



わが軍の一部は漢口に降参した。漢口に降参した。漢口に降参した。

南京陥落後十ヶ月、今また抗日の牙城と持んだ漢東及び武漢三鎮を相次いで失った蔣政権は、中央政府の責を失ひ、加速度的に深まり行く潰滅の懸念に呻吟することゝなつた。

撮影 同盟映画部



武漢放棄を前に、これを完全に無土化せんとした蔣介石の非人道的な計画に断乎反対した佛人宣教師チャキソ神父は、わが軍の入城を心から迎へ、正義を説く事象の歴史を記録した。



山地に軍事上の新據点を置くこともに遊撃戦によつてわが軍に抵抗せんとするものゝやうに見られてゐる。あやうく漢口を脱出した蔣介石は最近重慶放送局から支那國民に次のやうに放送してゐる。「中國軍はかねての計畫通り、中國將兵及び國民の無益の損害を避ける一方、日本軍に人的及び經濟的大損失を與へる目的を以て漢口を放棄した。しかるに日本軍は日本國民に對し中國軍に決定的なる打撃を與へたるものゝ如く傳へてゐるとの事……中國軍は今後もあくまで長期抗戦し、日本軍打倒の念に燃え、經濟的に倒れしめるまでの決意を固めてゐる。」

十月二十七日午後五時半、武漢三鎮を完全に攻略したわが將兵は日軍旗を振り、都をかざして高らかに感激の高喊を絶叫した。



次から次へと漢口に突入したわが各部隊は、激戦に抵抗をつづける残敵の掃蕩を断つて、漢口を占領した。



廣東陷落



炎々と燃え上る黒煙、槍のはじけ散る無意味な音響、良民の絶望の苦悩を顧みず残敵は處さらはず放火した。

支那軍は北へ、西へ全く見事な逃足でお先まつくらぬ道を急ぐ。わが部隊はのがさじこの敗敵を追つて一萬千里の追撃戦。

皇軍は戦火に追はれる良民を守つたのみでなく、また外國權益保護の萬全を期した。

皇軍は堂々と廣州市に入城した敵兵にとりのこされた青天白日章と蔣介石の敗旗の姿がいたづらに白日のもとに曬されてゐる。

廣州市中は今や皇軍の確保するところとなつた。市街にあふれたわが兵士たちは無惨にも敵兵の手に死都と化した廣東復興のために凡ゆる苦難と戦ひながら堂々と活動をつけてゐる。

撮影 岡田映畫部





5



隊部航溯江珠

本隊が東京に集結し、ついでに
 珠江航路を航行し、海上輸送隊
 の要員の如く廣東支隊と相俟して
 勇進行動を遂げた。
 珠江は石水道から廣東に達する
 重要水路であつて、敵はわがパイ
 ス海上輸送隊の航行に妨害し、そ
 の河口に當る虎門要塞に珠江その
 船を留めてこれを死守せんとした。
 わが虎門要塞攻撃は十月二十二日
 早朝開始して開始され、最高潮に
 達する時、特攻隊は敵艦を撃破し
 て敵艦を沈没せしめ、敵艦隊は
 の行動は見事な成功を遂げて二十三日
 午後五時、完全これを占領、珠江航
 路は引きつゞき無敵の航行路を確保
 しつゝ、珠江に溯り、二十九日
 珠江に溯り、海上輸送隊と協力の
 進軍を遂げた。
 勇進な支隊員によつて無敵にも死
 害を化した廣東の復興に、今後の作
 業に、珠江水路の開通は大なる役割
 を果たすことであらう。

4



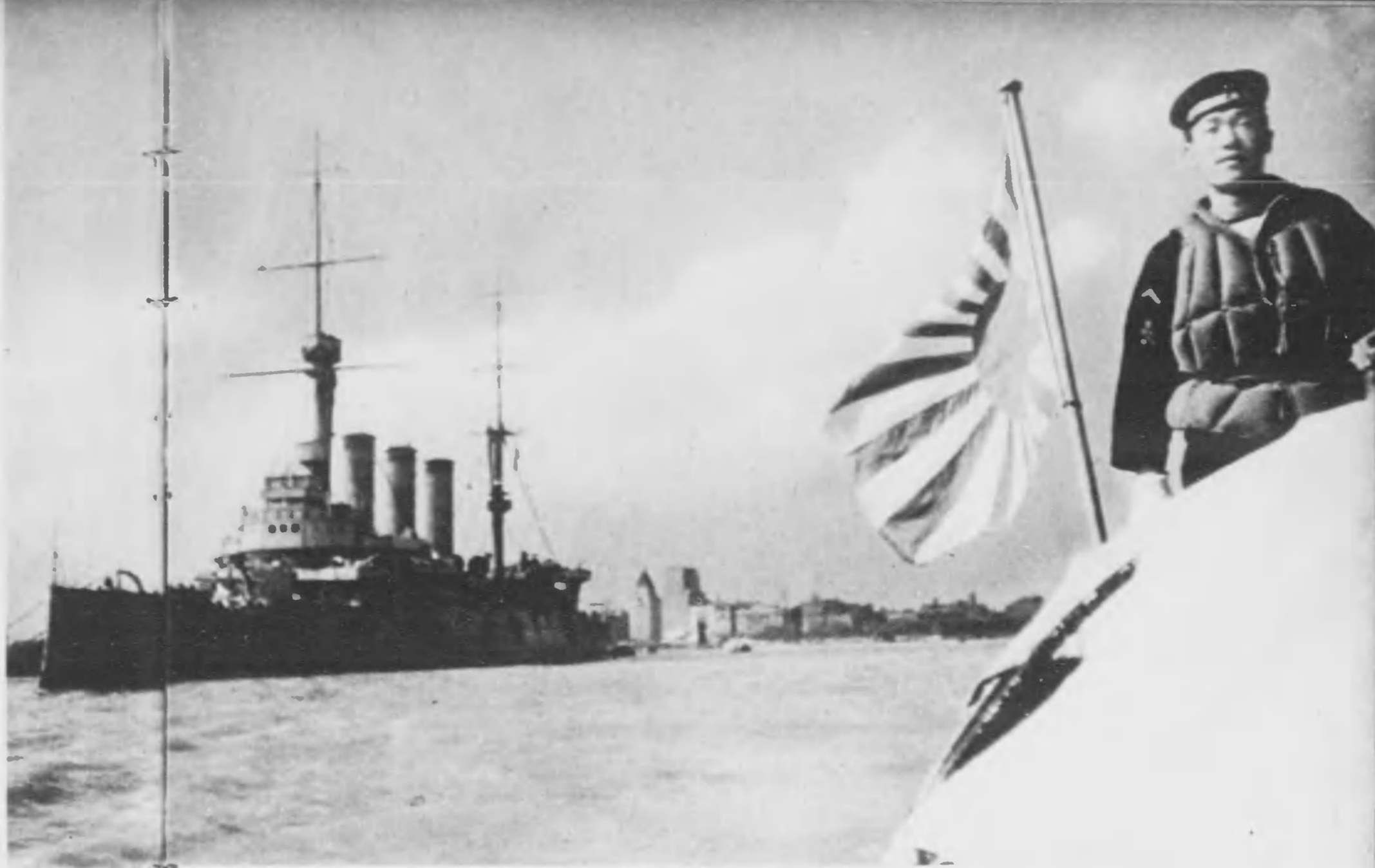
- 撮影 岡田映堂
- 1 南支の海は怒濤さかまき、敵艦は海上を覆ふ
 頃はよし、わが勇士をのせた機舟は一齊に本船
 を襲った。
 - 2 わが機舟からの攻撃は正確無比砲撃の命中する
 たびに風浪に揺つてゐる敵艦の有様が手に取るや
 うに双眼鏡にうつる。
 - 3 果敢な敵艦上陸はついに成功した。機舟をとび
 降りるや、勇士たちはまるまるとに砲火にかけあが
 り、敵艦隊を襲つて行く。
 - 4 先頭部隊はついに敵艦隊を占領した。後続部隊
 もこれを通つて、舟尾も艦上へ上陸する。
 - 5 敵艦上陸部隊に協力する航空隊員、いま胸のす
 くやうな爆撃を浴へた敵の遺棄が水際の際に隠れ
 る。



軍艦旗掲揚式に朗々と響きわたる
わが海の子の雄叫び、清東の旗に、揚
旗の岸に喇叭の音は戦ひに彼れを
知らぬ日本男子の意氣をこたます。



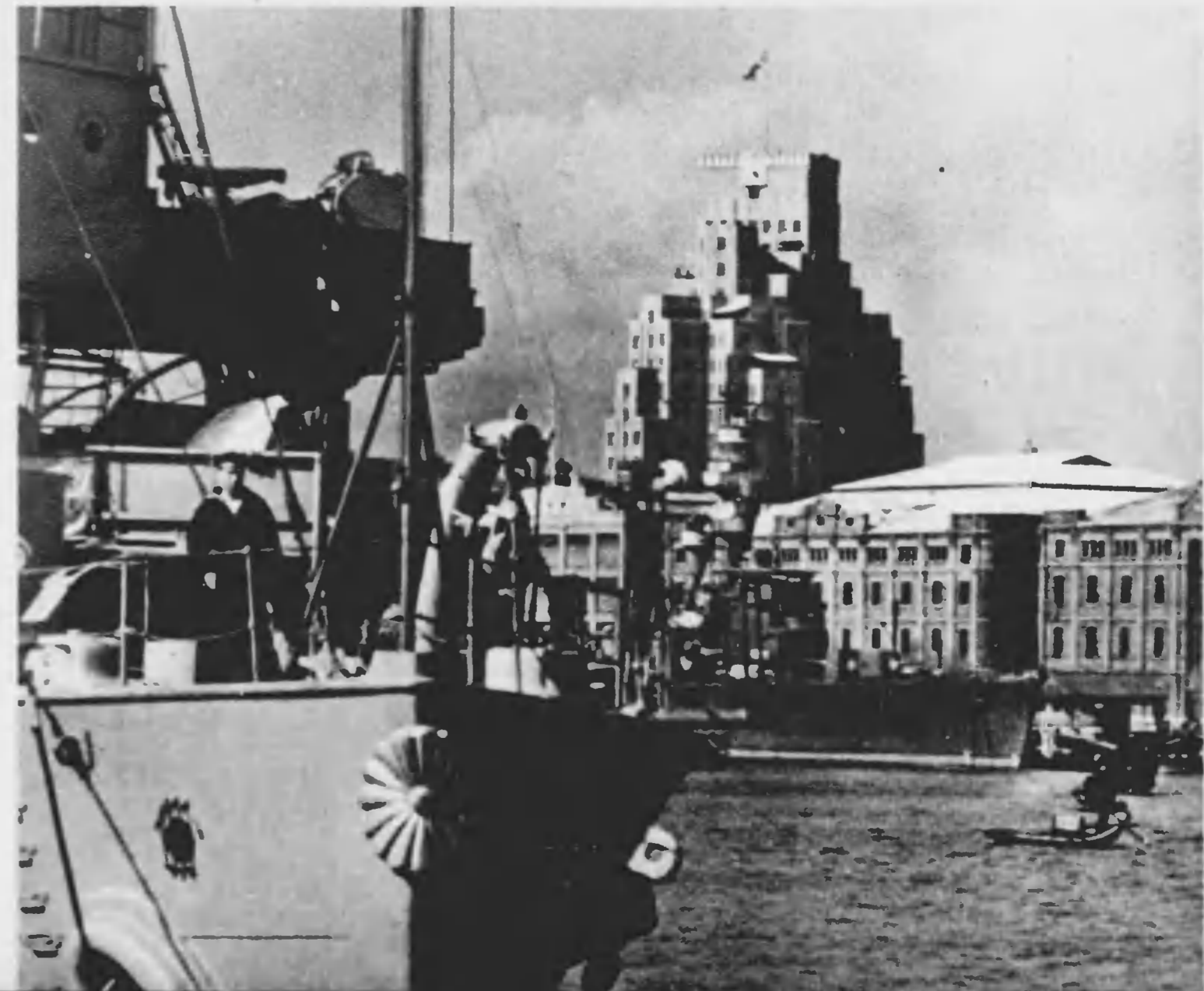
旗艦出雲の増頭高く戦闘旗は掲げられてゆ
く。黄浦江の川風を孕んで、上海の砲台をへ
いげいするわれらが魂。漢口、廣東陥ちても戦
ひはこれからだ。



懸々たる武動を樹てた旗艦出雲は
カセイ・ホテルの尖塔を尻に、堂々
黄浦江を駛して上海に投鐘した。

出雲艦上戦闘旗翻る

撮影 内閣情報部



菊花の御紋章は漢口陥落のこの秋にひ
としは總部と震る。上海一の摩天樓プロ
イドウ・イマジン・シオンが静かにうつつりゆ
く復興の街を見下してゐる。



方彼の海

アメリカに出来た世界最大の格納庫
 米國フロリダ州マイアミの國際パン・アメリカン航空會社の空陸に世界一の大きさを誇る格納庫が出来た。左から三番目のがそれである。

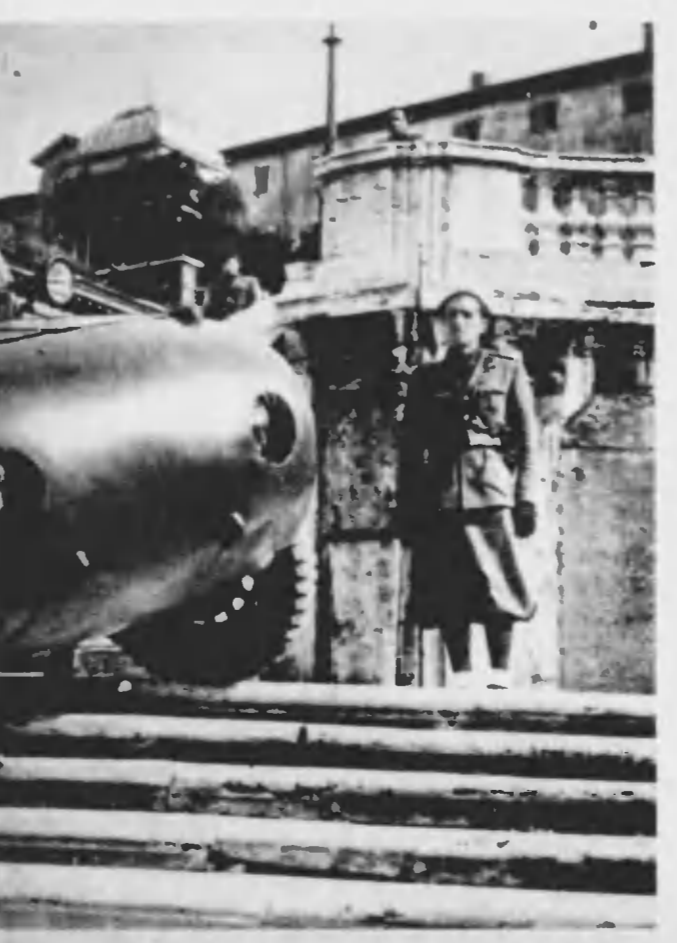


水陸兩用自動車
 階段を上下することも出来れば、水中を行進することも出来るといふ特殊自動車イタリアでつくられた。流線型の河馬に似た調度でローマの寺院の石段をおりてゆくところ。



3 ロンドンも一時は空襲におびえ、子女は地方に避難を開始したほどであつたが、危機が去るにつれて子供たちも喜色をたへてロンドンに歸つて来た。

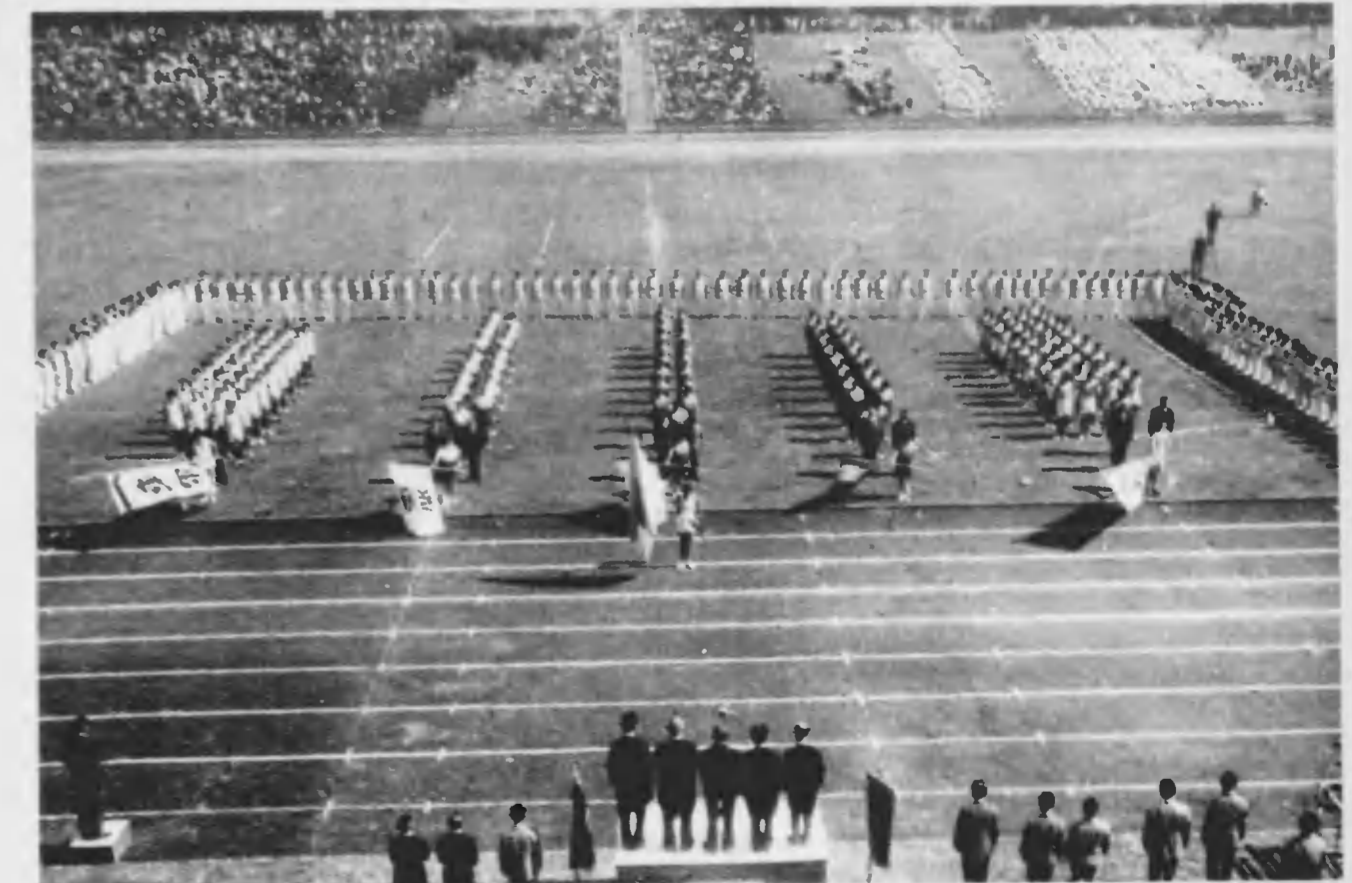
歐洲に平和ひと時よみがへる
 オロツバの火藥庫、チエツコ問題は四國協定によつて一應戦争の危機を脱した。ドイツとポーランドとハンガリーとはそれ／＼チエツコからその領土の一部を割讓されることになり、イギリス、フランスも召集動員の緊張がとかれた。
 1 數週間の不安の間にとざされたパリもチエツコ問題の平和的解決とともに煙火管制は解除され、再び花の都にかへり、急遽召集された豫備兵も朗らかに除隊した。
 2 シレジア・テツンエン地方のポーランド少數民族と感激の對面をするベック・ポーランド外相。



富真協會・同業通信社

読者のカメラ

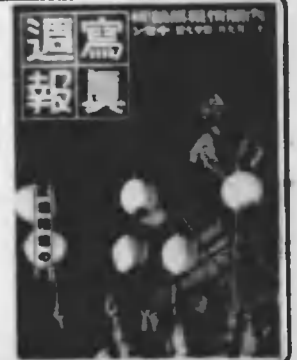
カッタ、カッタ
京都市伏見区
山口見司



真心こめて
星野清子
真心こめて われら送らん
われら送らん 往きて戦かよ
われらが戦士 幸あれと
残されし人々 われら守る
われらまもる 支那事
日の丸の旗はためき われら
たつと 力つくまでわれら
往きてたしかん 戦かはん
幸あれかし

黙 陣
このほど木戸厚相の來臨の
もとに行はれた東西抗陸上
競技大會入場式には選手たち
は無論、観衆も起立、支那事
變にたはれた戦士の靈に感謝
の黙禮を捧げた。そのとき敬
慮に静まりかへつたグラウンド
を白線がキツと引きしめた。

天皇陛下萬歳！ 聲の限り、心のかぎり、表裏の間に大内山を仰いで絶叫すれば、感激の涙ははら／＼と頬を伝ふ。これぞ日本の感激、日本の感涙でなくてはならぬ。



所 込 申	價 定	寫眞週報(禁傳載)
一ヶ月	四圓八十錢	昭和十三年十一月九日印刷發行
一ケ年(郵寄)	四十八圓	編輯部 内閣情報部 東京市墨田區本町四丁目 印刷部 内閣印刷局 東京市墨田區大田町 東京市墨田區大田町
一ケ年分未納配達御希望の方は一部十錢の割合を以て前金を添へ御申込み下さい		
内閣印刷局發行課 電話九ノ内(三)三五一九 郵政東京一九〇〇		
全國各地官報販賣所 東京市墨田區本町四丁目 各書店・譯賣店 各新聞・販賣店 寫眞材料店		

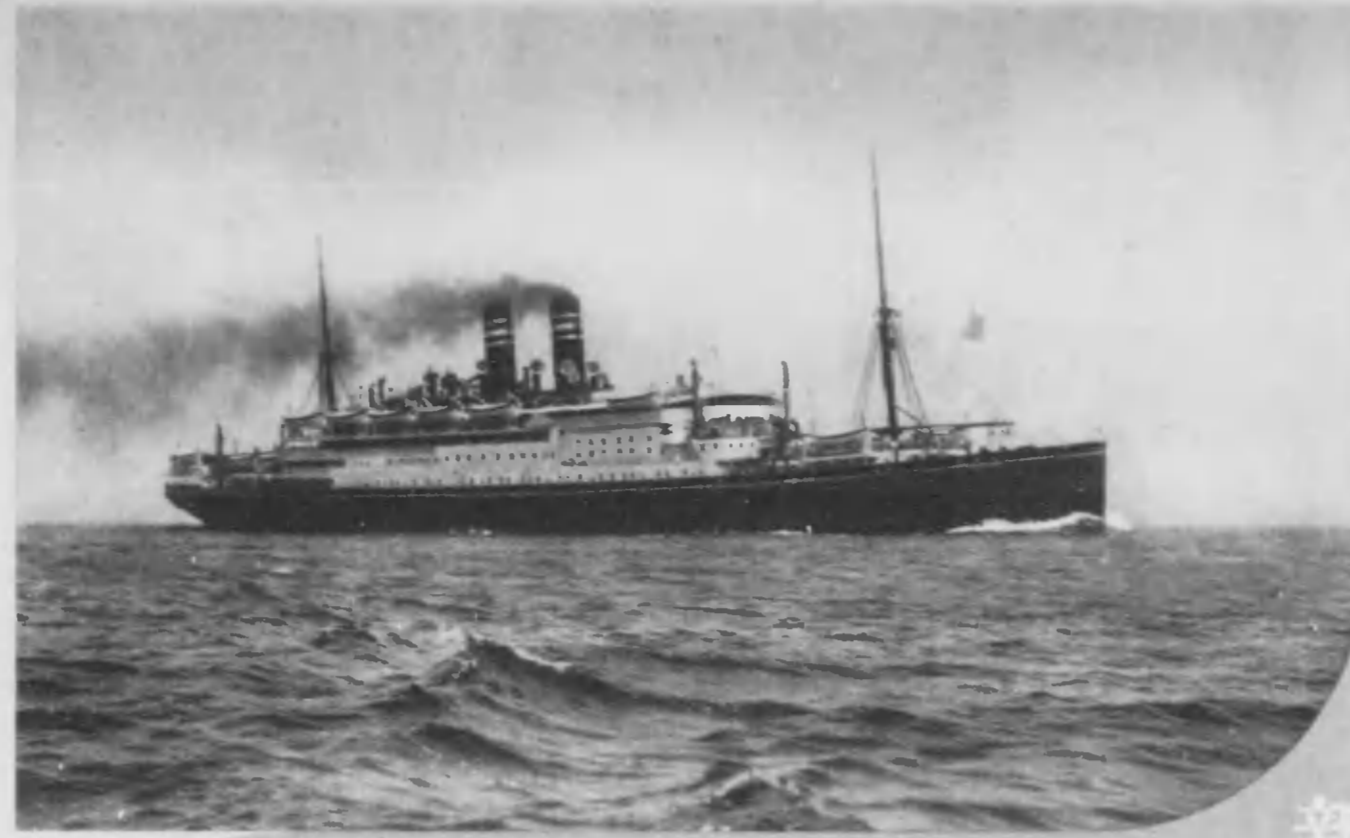
祝
漢口陷落



燃料報國

陸式薪自動車

東京東品川
東京自動車工業株式會社
製造所 銀目 川崎 十 本



中支復興ノ使命ヲ帯ビテ

新ニ日支ヲ結ブ

巨船大洋丸

神戸上海間運賃

一等 一〇〇圓

二等 六〇圓

三等 二〇圓

日本郵船

新天地北支へハ

近海郵船ヲ

南支北支北支北支



東京通報 昭和十三年三月十二日 第三號 郵船局 昭和十三年十一月九日發行 (郵船) 日本郵船 郵舟九號

(本書の大きさは横型A4・「通報」倍判)